

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ぬくい家

グループの名称

快適住宅研究会

直近採択グループ番号

06-0177-0144

(グループ代表者)

代表者名

清野 清彦

代表者印

代表者所属先

清野トヨ一住器株式会社

代表者所在地

福島県郡山市富久山町久保田字深田10-1

代表者電話番号

024-943-4838

(グループ事務局)

事務局事業者名

清野トヨ一住器株式会社

事務局担当者名

佐久間 千佳子

印

事務局郵便番号

963-8071

事務局所在地

福島県郡山市富久山町久保田字深田10-1

事務局電話番号

024-943-4838

事務局FAX

024-943-5815

事務局担当者E-mail

tfc4838@theia.ocn.ne.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸					
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		6	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸					
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸					
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		4	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟				
				0	m <sup>2</sup>					
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟	0		m <sup>2</sup>		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)		補助金未活用事業者を優先して配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)		長寿命型(長期優良住宅)								
		採択戸数	9	戸	交付申請戸数	9	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	9	戸
		高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
		高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
		採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
		高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
		採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
		優良建築物型								
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
		採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぬくい家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 栃木県 茨城県 宮城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 快適住宅研究会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0177-0144	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	当グループの地域型住宅供給対象地域の中心となる福島県は北海道・岩手県に次いで3番目の広さをもち、『浜通り・中通り・会津』といった気候風土の異なる地域からなる。平成28年省エネ基準の地域区分も3・4・5地域からなり、寒暖差の激しい地域が多いため、「ぬくい家」は平成28年省エネ基準における断熱基準を満たした住宅性能をもつ。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	この地域は寒暖差が大きく、高齢者も多い地域も含むことから、ヒートショック、熱中症等の健康被害が懸念されるため、性能の高い省エネ設備(冷暖房、給湯、換気、照明、太陽光発電等)を併せ持った住宅の供給を行う。また、地域性を考慮した街並み、景観に配慮し、次世代に受け継ぐ長く住み続けられる住宅を供給する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	屋根のデザインは省エネにも大きく影響するため、多雪地域において太陽光を利用する場合には勾配、方位、または日射を意識した深めの軒先などを設計デザインの段階で優先する。また子育てを家族で支える三世同居対応住宅の提案を積極的に行う。	◎
④①～③の背景	福島県は東日本大震災による原発事故のため、いまだに避難生活を送る被災者がいる。そのため、省エネ意識が非常に高いため、再生可能エネルギーに対する取り組みには積極的にあり、省エネ性能の高い住宅供給が必要な地域である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グリーン化事業取り組みにおいて、未経験工務店が長期優良住宅または高度省エネ住宅に最低1戸は取り組めるように、事務局はこれらに関連する情報や技術の提供等の支援を行うものとする。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 用材に関しては特に寸法や規格等で統一の基準は定めないが、柱は120角を推奨する。	○
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材については、1戸当たりの構造材における使用割合を50%以上とする。	◎
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 検討する。	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 検討する。	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 勉強会等の招集、新商品の情報収集と会員への情報提供を行い、また本事業の申請手続き等、会全体の情報の共有を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 「住宅省エネルギー技術講習会」を受講し、講習内容を施工基準とする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 地盤調査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 省エネ機器等、メーカー定価が明らかなものは表示する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 各施工会員のホームページで本事業の取り組み等を載せ、構造見学会や完成見学会などを通して、広く消費者へPRを行う。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: 現場の実態等を踏まえ、週休2日算定が可能な工期設定の見直しをするなど、環境を整備する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 経歴・経験等を一覧できる形で保管する。各資格試験の受講を推奨する。	◎
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 加入している。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 関係団体の研修会・安全講習会等へ参加する。定期的な健康診断の実施。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	途中からの新規施工業者には「住宅省エネルギー技術講習会」の受講を条件とする。定例会を定期的開催し、意見及び情報の交換を行う。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぬくい家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 栃木県 茨城県 宮城県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適住宅研究会	(結成年) 2015 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0177-0144			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄積情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅情報はデータに保管する。	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 特にサービス機関は指定しない。	◎	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 証明書等を事務局へ提出する。	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画に基づき、メンテナンスを実施する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期維持保全計画に従い補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検、補修記録シートを事務局へ提出する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅維持管理の専門業者による勉強会を実施する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見学会や感謝祭等のイベントで企画する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設備メーカー等と協力し、イベント等で相談会を実施する。	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 検討する。			
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員に倒産廃業があった場合は、臨時の会員総会を開き、代替事業者を決めるなど対応を協議する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険会社の講習会を企画する。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	福島県地域型復興住宅推進協議会の「マッチングサポート制度」等を通して、当グループのPRを行い、被災者の住宅再建支援や工務店の人材、資材不足解消の為に情報を提供する。 また、ストック住宅市場におけるインスペクションの重要性を考え、「インスペクター」の資格取得を推奨する。		◎	
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 請負業者にも『住宅省エネルギー技術講習』を受講させる。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内のヒアリングを基に住宅供給戸数を予測する。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年の省エネ義務化に向け、メーカーや関連団体が行う講習会を積極的に受講する。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員は外皮計算・一次エネルギー計算を取得し施工構成員を支援する。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 2	◎	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 3	◎	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会開催情報を随時発信する。	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	初めて長期優良住宅や高度省エネ型住宅に取り組み施工会員向けに、申請サポート会社との協力体制により支援を行う。 省エネ表示制度「BELS」取得に積極的に取り組む。		◎	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぬくい家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 栃木県 茨城県 宮城県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適住宅研究会	(結成年) 2015 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0177-0144													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>構造材(梁・桁、柱、土台)においてその過半で地域材を使用する。 ※羽柄材、造作材、板材等において、地域材の使用を制限しない。</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満    <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上    <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> <p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>原木供給・製材・集成材・合板製造 → 地域材 → 合法木材 → 木材流通・プレカット → 合法木材証明等 → 施工会員(勉強会(定期開催)) ← サポート体制・申請業務やエネルギー計算などの支援 → 事務局・流通会員等</p>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 ①-2 地域材価格の共有の仕組 ② グループ全体における地域材の需給予測	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組 <input checked="" type="checkbox"/> ない    <input type="checkbox"/> ある → 内容:</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組 <input checked="" type="checkbox"/> ない    <input type="checkbox"/> ある → 内容:</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 1戸当たり約10.31㎡として、今年度20戸約206.2㎡の地域材の活用が見込まれる。</p>												
c	①-1 畳の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<p>①-1 畳の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-2 和瓦の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-3 襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-4 障子の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 ② 地域の住まい方の継承につながる取組 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 ④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>④ 和の住まいの要素を取り入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 初期の段階で畳・襖等を活用した和風モダンを提案する。(あくまでも建築主の意向を優先する)</p>												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。														
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	福島県は未だ県内外に避難者が多く、これらの被災者が新たに住宅を新築する際には、積極的に耐震性、断熱性に優れた「ぬくい家」を提案、推奨する。また福島県地域型復興住宅推進協議会が行う取組に協力する。	◎												
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ぬくい家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 栃木県 茨城県 宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適住宅研究会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0177-0144	

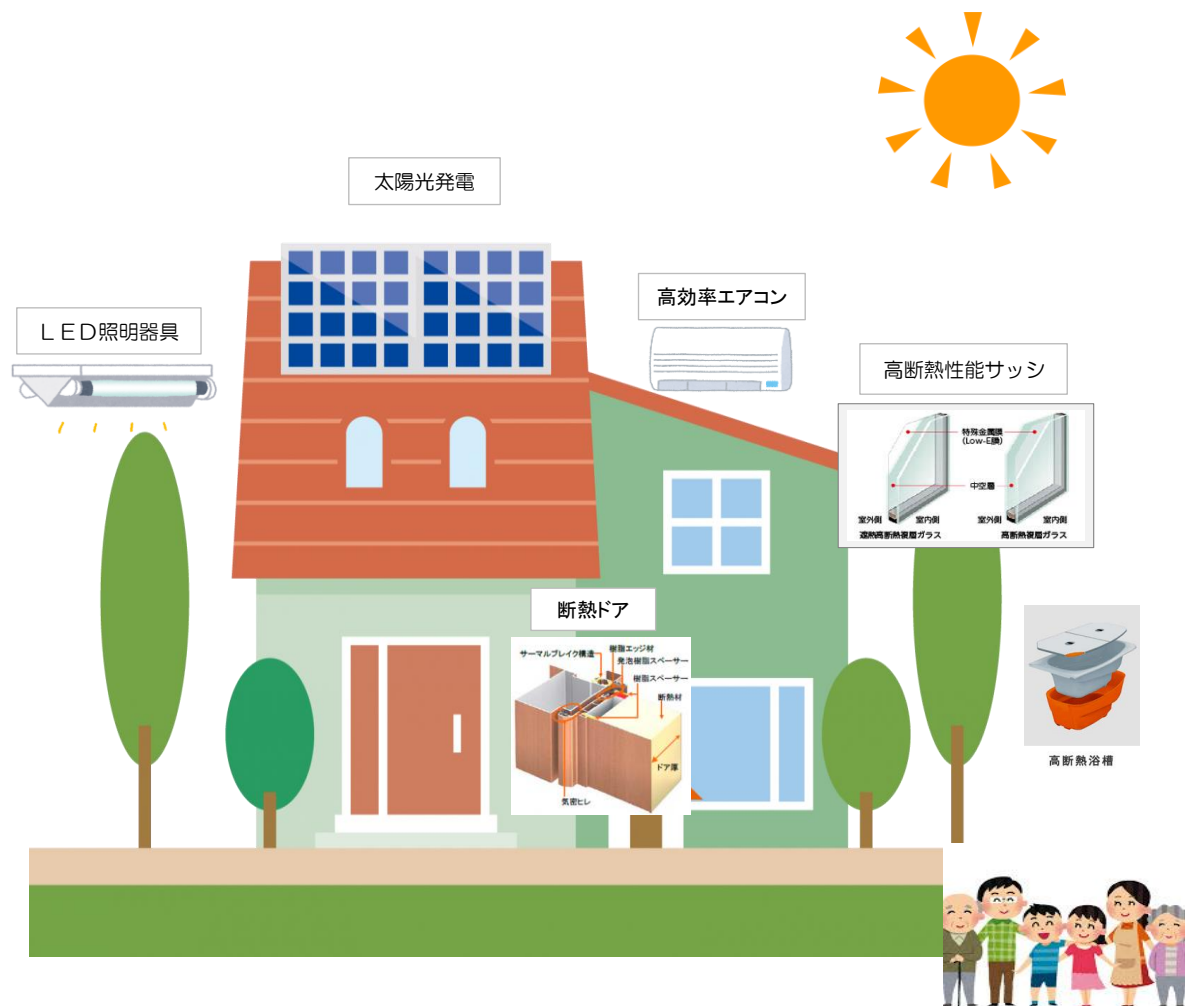
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴  
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。  
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

## ぬくいゼロエネ住宅の家

### \*夏涼しく、冬暖かい家\*

- ・ゼロエネ住宅はBELS認証取得
- ・太陽光発電
- ・外皮性能はZEH基準
- ・高効率、高性能設備機器を取り入れた省エネ住宅  
 (冷暖房、換気設備、給湯配管、節湯水栓、断熱浴槽、LED照明、節水トイレ、断熱サッシ、節水水栓等)



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。